

様式第4号その①（第6条関係）

令和5年4月3日

宗像市長 伊豆美沙子様
（宗像市議会議長経由）

議員名 笠井 香奈枝

政務活動費収支報告書

宗像市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙
のとおり令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和4年度政務活動費収支報告書

議員名 笠井 香奈枝

1 収入

政務活動費 264,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	領収書額	政務活動費報告額
研修開催費		
調査研究費		
資料作成及び資料購入費	162,010	85,000
広報及び広聴費	99,202	99,202
人件費		
事務所費		
合計	261,212	184,202

3 残額

79,798 円

4 添付書類

領収書等証拠書類

(様式1)

令和4年度 政務活動費明細書

(単位:円)

No	内容	項目	費目											領収書額	政務活動費 報告額		
			旅費	講師 謝金	出席 負担金	印刷 製本費	図書 購入費	備品 購入費	消耗 品費	使用料	郵送料	手数料	賃金			その他	
1	図書購入	資料作成・資料購入費					2,530									2,530	2,530
2	印刷代	広報及び広聴費				33,718										33,718	33,718
3	図書購入	資料作成・資料購入費					3,080									3,080	3,080
4	パソコン購入	資料作成・資料購入費							154,010							154,010	77,000
5	印刷代	広報及び広聴費				31,109										31,109	31,109
6	図書購入	資料作成・資料購入費					1,400									1,400	1,400
7	図書購入	資料作成・資料購入費					990									990	990
8	印刷代	広報及び広聴費				34,375										34,375	34,375
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
合 計						99,202	8,000	154,010								261,212	184,202

研修開催費		
調査研究費		
資料作成・資料購入費	162,010	85,000
広報及び広聴費	99,202	99,202
人件費		
事務所費		
合 計	261,212	184,202

(様式5)

備品台帳

《価格が3万円以上の事務機器》

宗像市議会議員 笠井 香奈枝

備品番号	品名	取得年月日	税込価格(円)	備考
1	パソコン	2022/10/10	154,010 円	政務活動費より 77,000 円支出
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
合計			154,010 円	77,000 円



amazon.co.jp

注文番号503-7962899-4324649の領収書

このページを印刷してご利用ください。

笠井 香奈枝 様

発行日: 2022年5月22日

注文日: 2022年5月20日

Amazon.co.jp 注文番号: 503-7962899-4324649

ご請求額: ¥ 2,530

2022年5月20日に発送済み

注文商品

1点 育児・介護休業法 (1冊でわかる! 改正早わかりシリーズ), 小磯優子
販売: アマゾンジャパン合同会社

価格

¥ 2,530 ✓

コンディション: 新品

お届け先住所:

笠井 香奈枝

811-4163

福岡県 宗像市自由ヶ丘二丁目882-11

配送方法:

お急ぎ便

支払い情報

支払い方法:

一括払い

商品の小計: ¥ 2,530

配送料・手数料: ¥ 0

注文合計: ¥ 2,530

ご請求額: ¥ 2,530 ✓

請求先住所:

笠井 香奈枝

811-4163

福岡県 宗像市自由ヶ丘二丁目882-11

クレジットカードへの請求

2022年5月20日: ¥ 2,530

注文の状況を確認するには、注文内容をご覧ください。

領収書

2022年5月24日

笠井香奈枝 様



領収金額 ¥33,718-

但し、ニュース167号印刷代
として上記の金額正に領収致しました。

内訳

ビジネススマート

135-0061
東京都江東区
豊洲3-2-3
豊洲キュービックス

TEL 03-4330-5920

ニュース 167号 発行.
15,000部 のうち 2分の1面分(裏面)
総額 67,435円 のうち 2分の1面分 を 支払い.



笠井 香奈枝 様

再発行日: 2022年10月10日
注文日: 2022年10月9日
Amazon.co.jp 注文番号: 503-7669604-1851838
ご請求額: ¥ 3,080

2022年10月9日に発送済み

注文商品	価格
1点 子ども白書2022, 日本子どもを守る会 販売: アマゾンジャパン合同会社	¥ 3,080
コンディション: 新品	

お届け先住所:
笠井 香奈枝
811-4163
福岡県 宗像市自由ヶ丘二丁目882-11

配送方法:
お急ぎ便

支払い情報

支払い方法:

██████████
一括払い

商品の小計:	¥ 3,080
配送料・手数料:	¥ 0
	—
注文合計:	¥ 3,080
	—
ご請求額:	¥ 3,080

請求先住所:
笠井 香奈枝
811-4163
福岡県 宗像市自由ヶ丘二丁目882-11

クレジットカードへの請求: ██████████ 2022年10月9日: ¥ 3,080

注文の状況を確認するには、[注文内容](#)をご覧ください。

政務活動費 7,700円 支出

発行日: 2022年10月10日

領収書
宛先 香奈枝

様

管理No. 0376-403-0007774
伝票No. 0376-403-245017

支払内訳
方一卜

¥154,010

10%対象

¥154,010(内消費税 ¥14,000)

上記の金額正に領収いたしました。

株式会社ヤマダデンキ
群馬県高崎市栄町1-1

¥154,010— (内消費税 ¥14,000)
但し ハ/V/コン 代として。

※印刷面を内側に折って保管願います。

印紙税申告納
付につき高崎
税務署承認済



⑤

領 収 証

笠井 香奈枝

様

No. _____

★ ¥31,109

内 訳	_____
現金	_____
小切手	/
手 形	/
消費税額等(%)	_____

但 ニュース168号発行代り
 令和4年11月25日 上記正に領収いたしました

収入印紙

佐世保市白南 〇〇〇〇号
 ハレル 社
 アスクル 部
 TEL 0956-29-3040

コケヨ ウケ-08

ニュース 168号発行.

14,000部のうち 2分の1面分(2ページ、3ページ)

総額 62,218円のうち 2分の1面分を支払い.

⑥

領 収 証

笠井 香奈枝

様

No. _____

★ ¥14,000-

内 訳	_____
現金	_____
小切手	/
手 形	/
消費税額等(%)	_____

但 本代
 2023年1月29日 上記正に領収いたしました

収入印紙

はじまりの木

〒811-1232 福岡県那珂川市埋金558-2
 TEL 092-519-60

コケヨ ウケ-08

種を守り! そのための種子法廃止, 種苗法改定 200円
 広がるオーガニック給食 500円
 食の安全を守る人々 700円



amazon.co.jp

注文番号249-7479942-4611039の領収書

このページを印刷してご利用ください。

笠井香奈枝 様

発行日: 2023年2月23日

注文日: 2023年2月17日

Amazon.co.jp 注文番号: 249-7479942-4611039

ご請求額: ¥990

2023年2月17日に発送済み

注文商品

1点 世界で最初に飢えるのは日本 食の安全保障をどう守るか (講談社+α新書), 鈴木 宣弘
販売: アマゾンジャパン合同会社

コンディション: 新品

価格

¥990

お届け先住所:

笠井 香奈枝

811-4163

福岡県 宗像市自由ヶ丘二丁目882-11

配送方法:

お急ぎ便

支払い情報

支払い方法:

一括払い

請求先住所:

笠井 香奈枝

811-4163

福岡県 宗像市自由ヶ丘二丁目882-11

商品の小計: ¥990

配送料・手数料: ¥0

注文合計: ¥990

ご請求額: ¥990

クレジットカードへの請求

2023年2月17日: ¥990

注文の状況を確認するには、注文内容をご覧ください。

⑧

領 収 証

笠井 香奈枝

様 No. _____

★ ￥34,375-

但 ニュース169号印刷代と

令和5年2月19日 上記正に領収いたしました

内 訳

現金

消費税等(%)

近世保市白南

ハレル

アスクル

TEL 0956-29-3040 FAX 0956-29-3041

取 入
印 紙

FD-1097

ニュース169号発行.

14,000部のうち2分の1面分(2ページ、3ページ)

総額 68,750円のうち2分の1面分を支払い.

認知症サポーター養成講座

認知症について正しい知識を持つことは、認知症になっても安心して暮らせることにつながります。「認知症サポーター」とは、認知症の人やその家族を温かく見守り、自分のできる範囲内で支援する「応援者」のことです。

今回、認知症の人への声かけや接し方を学べます。まだ自分には必要がないと思う人も、親の介護の備えに受講してみませんか。

日時：11月22日(火) 10:30~12:00

場所：河東コミセン 大会議室

参加費：無料 (資料の準備があるので21日までに申し込みください。)

申し込み：TEL/FAX 0940-37-0700

E-mail munakata@fnet.gr.jp

議会報告会 と まちづくりトーク

今、宗像市で気になること、困っていることは何ですか？こんな宗像市だったらいいな、あんな制度があったらいいななど、わいわい話しましょう！お気軽にご参加ください。

11月16日(水) 10:30~12:00

市民ネット事務所 (田熊2-1-1)

*申し込みは不要です。お待ちしております。

ホームページリニューアル!

CITIPOLI (シティポリ) は
ふくおか市民政治ネットワークが
運営するウェブメディアです

CITIPOLI

Citizen Politics Network of Fukuoka



サポーター会員募集! (年会費 1500円)

サポーター会員の方には、議会のお知らせや学習会等のご案内をお届けします。
会費・カンパ・議員報酬からの寄付で活動しています。
郵便振替口座 記号01730-2 番号59371
ふくおか市民政治ネットワーク・宗像

ふくおか市民政治ネットワーク・宗像

〒811-3431 宗像市田熊2-1-1 TEL/FAX 0940-37-0700

Email: munakata@fnet.gr.jp HP: <http://www.fnet.gr.jp/munakata>

■事務局長：田中るみ子 ■代理人：笠井かなえ

☆このニュースはボランティアの手で配られています。 ニュース配布ボランティア募集中です☆



宗像市議会議員
笠井 かなえ



ふくおか市民政治ネットワーク

Citizen Politics Network of Fukuoka

ふくおか市民政治ネットワークは、32年前から女性を議会に送り出し、生活者の視点で暮らしの課題を解決する活動を続けている地域政党です。

宗像市では1990年以來6人の議員を出しています。



福岡県に

気候非常事態宣言

を

求める要望書を提出

今年も世界中で洪水、熱波など異常気象が起きました。近年の異常気象はCO₂の排出量の増加による地球温暖化が原因といわれています。

子どもたちや未来の世代に安心して暮らすことができる環境を手渡すために、私たち「ふくおか市民政治ネットワーク」は福岡県に対し「気候非常事態」を宣言する要望書を提出しました。全体で2,307筆と電子署名151筆を添えました。ご協力ありがとうございました。

気候危機の深刻な現状を県民に積極的に知らせ、行政・事業者・県民が協力してより強力な対策に取り組むことが、今、必要です。



福岡県が宣言することで、県内の市町村も宣言し、温暖化対策がすすむと考えます。広く県民が気候危機に関心を持ち、意識・行動が変わることが期待できます。

福岡県の担当課職員と懇談しましたが、残念ながら、宣言を出す予定はないと消極的な対応でした。

気候危機対策は、待ったなしです。海外では、多くの子ども達が自分の問題として、活動しています。自然災害の多い日本に暮らす一人として、できることを今からはじめませんか。

宗像市は2021年10月8日に「ゼロカーボンシティ宣言」をしました。2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを目指します。今年4月に「脱炭素社会推進室」ができました。公用車に電気自動車の導入や海の藻場の再生プロジェクトも始まっています。



笠井かなえの活動レポート 6月と9月議会報告

～子育て・介護をひとりぼっちにしないまちに～

みなさまのご意見、現場の声を
お聞かせください。
TEL・FAX：0940-37-0700
Email：munakata@fnet.gr.jp



メール用
QRコード



6月一般質問

◆仕事と子育てを両立できる職場に

女性も男性も仕事と子育てを両立できるように、子育てを男女が共に担うためには職場の理解やサポート体制が重要です。そのため育児・介護休業法が、昨年6月改正され、今年4月から育児休業を取得しやすい環境整備が義務化されました。また、10月からは「産後パパ育休（出生時育児休業）」が新設され、男性が子の出生直後に複数回育児休業を取得できるようになりました。

宗像市では出産補助休暇を取得する男性職員は多くいましたが、育児休業取得者はここ数年間1人だけでした。国が推進する「仕事と子育ての両立」の観点からも、早急に改善する必要があると考え、質問しました。

- 男性職員の育休を取りやすくするために今後の市の取り組みは？

〈市の回答〉今年度の法改正に伴い職員全体に周知徹底する。管理職にも機会を持ち伝えていく。取得率50%以上を目指して取り組んでいく。

- 職場復帰後、個別の事情を配慮した対応、育児休業の取得を理由に不利益な扱いを受けないことを要望。
- 広報紙を活用して市民に父親の育児休業制度とメリットを周知する取り組みを要望。

〈市の回答〉周知については検討していく。職員募集パンフレットではPRしている。

- 子育て支援は母親目線で考えられていることが多いため、今後は父親向けの支援事業を考えていくことを提案。



6月議会後、男性職員が3カ月間の育休を取得し、代替職員が派遣されています。

令和3年度決算に賛成しました。

評価したこと

高齢化が進む中、健康寿命を延ばすために、住民主体の通いの場に保健師や管理栄養士等の専門家を派遣し、フレイル予防の取り組みを行っていること。

要望したこと

不登校やいじめ、虐待など子どもが抱えている悩みや困りごとに早く気づき、早く対応出来るように、相談の専門家であるスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの人数を増やし、相談体制を充実させることを要望

9月一般質問

◆スマホ・タブレット利用の情報モラル教育の強化を

社会の情報化が進む中で、小中学生にもスマホが急速に普及し、長時間使用による健康の問題とともにSNSの利用によるいじめやネットトラブルに巻き込まれ犯罪の被害者・加害者になる等社会問題になっています。国の方針により、児童生徒全員にタブレット端末が支給されており、学校での情報モラル（リテラシー）教育がますます重要になっているので、今回取り上げました。

- 宗像市の小中学校でも情報モラル教育をしていますが、教師の得意不得意があるので研修の充実を要望。また、トラブル防止のため保護者への啓発と家庭でのルール作りの徹底を要望。
- タブレットの使用について、メリットもあるが、デメリットとして、トラブルを防ぐための機器や利用ソフトにかけている制限を、中学生などは破って使うケースも報告されています。子ども達が正しく安全にネットなどの情報を活用できる力をつける教育の充実を要望。

〈市の回答〉今年度、宗像市版情報モラル教育について協議し作成しているため、指摘された課題は検討したい。



9月一般質問

◆コロナ禍でも子ども達が安心して生活できる環境を

新型コロナ感染拡大で、子ども達は、マスク着用など色々な制約がある生活を2年以上続けており心身に大きな影響を受けています。様々なストレスから不安や悩み・困りごとを抱え、宗像市でも子どもについての相談件数が大幅に増え、不登校や子どものトラブルも増加しています。

子どもたちが、安心して生活できるように、悩み・困りごとに早期に気づき、解決への支援が十分にできているか、改善点などの質問をしました。

- 子どもの問題は、多様で深刻なケースもあるので、スクールソーシャルワーカーの増員を要望。
〈市の回答〉学校側からも要望が出ており、検討したい。
- 保護者からの相談体制を充実させ（スクールカウンセラーの利用など）、その広報などの改善を要望。また、悩み・困りごとに気づく方法として、保護者アンケートを提案。
〈市の回答〉保護者からの相談窓口について、周知方法は改善したい。
- 学校の教職員や保育所など子ども関係施設の職員への「宗像市子ども基本条例」についての研修を行うことと保護者や市民への啓発を充実させることを要望。
〈市の回答〉担当課とも協議し、できれば充実させたい。

認知症サポーター養成講座を受けて

2025年には認知症の人は全国で700万人に達し、65歳以上の約5人に1人を占めると予想されています。講座では認知症と加齢による物忘れの違い、認知症の種類と特徴、認知症と間違えやすい病気に注意すること、認知症の予防方法などをわかりやすく学ぶことができました。自分や家族の為に今回の講座を活かしていき、また、地域での身近な理解者になりたいと思いました。

認知症の人への対応の心得として、

“3つの「ない」”が大切です。

- ①驚かせない
- ②急がせない
- ③自尊心を傷つけない



議会報告会 と まちづくりトーク

今、宗像市で気になること、困っていることは何ですか？こんな宗像市だったらいいな、あんな制度があったらいいななど、わいわい話しましょう！お気軽にご参加ください。

2月20日(月) 10:30~12:00

市民ネット事務所(田熊2-1-1)

*申し込みは不要です。お待ちしております。

ホームページご覧ください！

CITIPOLI(シティポリ)は
ふくおか市民政治ネットワークが
運営するウェブメディアです

CITIPOLI

Citizen Politics Network of Fukuoka



宗像市議会議員
笠井 かなえ



ふくおか市民政治ネットワーク・宗像

Citizen Politics Network of Fukuoka

ふくおか市民政治ネットワークは、33年前から女性を議会に送り出し、生活者の視点で暮らしの課題を解決する活動を続けている地域政党です。

宗像市では1990年以来6人の議員を出しています。



住み慣れたまちで 安心して住み続けられるように

宗像市の高齢化率(65歳以上)は、平成27年の26.6%から令和2年には30.1%になりました。市民アンケートでは、高齢者の80%が「住み慣れた我が家で住み続けたい」と回答しています。では、地域で暮らし続けるには、何が必要でしょうか？

困った時やいざという時に、どこに相談すれば良いのかを知っておくと心強いと思います。一方で、高齢の一人暮らしや介護などで困っている方が孤立することが無いように地域で見守りやサポートができる仕組みが必要です。自治会によっては高齢者・障がい者の方へ買い物支援、ゴミ出しの支援等を福祉会や住民の自主グループの活動として行っています。また、災害時の要支援者についての検討もされています。



行政は、地域ごとの高齢者の要望・課題をていねいに把握し、健康面・社会生活面からも取り組む必要があります。特に、フレイル予防や公共交通等の整備は、切実な課題です。全市的に計画的に進めることが求められています。

誰もが年をとります。今から、一人ひとりが出来ることを考えて、安心して住み続けられるまちにしていきませんか。

◆市民アンケートでは、悩み・不安があっても誰にも相談しないという方が3割いました。家族の介護の悩みや最近物忘れが進んでいる等困りごと、不安等があれば、一人で抱え込まないで自分の住む地域の地域包括支援センターに、電話で相談してみてもはどうでしょうか。

センター名	電話
吉武・赤間・赤間西地域包括支援センター	(0940) 32-2235
自由ヶ丘地域包括支援センター	(0940) 72-6707
河東地域包括支援センター	(0940) 33-2755
南郷・東郷地域包括支援センター	(0940) 62-6514
日の里地域包括支援センター	(0940) 62-5030
玄海・池野・岬・大島地域包括支援センター	(0940) 36-9001

ふくおか市民政治ネットワーク・宗像

〒811-3431 宗像市田熊2-1-1 TEL/FAX 0940-37-0700

Email: munakata@fnet.gr.jp HP: http://www.fnet.gr.jp/munakata

■事務局長: 田中るみ子 ■代理人: 笠井かなえ

☆このニュースはボランティアの手で配られています。ニュース配布ボランティア募集中です☆



笠井かなえの活動レポート 12月議会報告

～子育て・介護をひとりぼっちにしないまちに～

みなさまのご意見、現場の声を
お聞かせください。
TEL・FAX：0940-37-0700
Email：munakata@fnet.gr.jp



メール用
QRコード



一般質問

◆子どもが通いたくなる学校・居場所づくりを

不登校児童・生徒の現状は

宗像市では、昨年度の不登校児童・生徒数が200人を超え、この5年間で約3倍に増えてい
ます。学校は、本来子どもにとって安心して楽しく生活できる場であるはずで
す。不登校が急増して
いる理由や各学校での対応をしっかりと検討して、課題があれば改善し、支
援を充実させなければ、
コロナ禍が収まっても、さらに増える可能性があります。

通いたくなる学校づくりと支援体制を

新たな不登校の児童・生徒を生まない学校づくりと支援体制の充実を求めました。学校では、ア
ンケート等を取り逃がさないように努めていることや担任だけでなくチームで組織的に対応
している等の説明がありましたが、教員がとても多忙になっている現状で十分に眼が届いているか、
子どもの変化に早く気づき対応できているか疑問が残りました。

取り組みの強化としてはスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの充実を検討して
いるとの回答でした。教員が子どもと向き合う時間を増やすことも要望しました。

新たな安心できる居場所の開設に向けて

不登校の児童・生徒の中で長期化し、引きこもり状態の子どもも増えてい
ます。
来年度に開設される「子どもの自立サポートセンター（仮称）」が、安心できる
居場所になることを期待していますが課題も多いと考えます。

以下の項目を要望しました。

- ①不登校の子ども本人の意見・要望を聴く
- ②保護者の意見・要望を聴く
- ③新設なので特に対象となる子ども・保護者への周知に力を入れる
- ④正助ふるさと村内に出来る予定なので保護者等の送迎以外の交通手段の確保

今、準備段階で一部の不登校の子どもと話をしているそうです。当事者の子ども一人ひとりに
寄り添い、意思を尊重して進めることが大事です。今後検討するとの回答でした。



◎宗像市には「宗像市子ども基本条例」があるので、学校の教職員や教育関係者には子どもの権利
保障と学びの機会確保に努めることが求められます。今後も市に対して、研修や対応の見直し・
充実を要望していきます。

ここに注目

●出産・子育て応援交付金

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てできるように、以下の支援が
行われます。妊娠届出時に5万円、出生届時に5万円の計10万円が支給されま
す。妊娠届出時より子育て家庭に寄り添い、相談や必要な支援につなぐ相談支援が
受けられます。令和4年4月以降に産んだ人が対象となります。



●広報紙（おなかたタウンプレス）全戸配布へ

現在は自治会に入っていないと、広報紙を受け取れない世帯があります。加えて、広報紙の
配布を負担に感じている自治会もあります。そのため、今まで通りの「自治会配布の継続」が
業者による「ポスティング（各世帯の郵便受けに直接投函）」が各コミュニティの選択により
全戸配布になります。

●市民ネットは補正予算に意見を付けて賛成しました。

『県立特別支援学校用地造成工事費の7,700万円増額』は問題点があります。これは当初
4億円の事業でした。工事方法等の変更でさらに約2割も増額されることに納得がいきません
が、特別支援学校の開校を待っている方々がいます。今後の残りの工事がこれ以上の増額が無
く予定通りの工期で行われるよう、市がしっかり監督するよう意見をつけました。

🎵オーガニックパパ株式会社（筑紫野市）に視察に行ってきました。

オーガニックパパは、オーガニック給食をすすめる取り組みをされ
ているので、宗像市の給食もオーガニック化できないかと思い、話を
聞きに行きました。

オーガニックパパは有機農業に取り組まれていて、県内では宗像市
に一番多く農地があります。さらに、オーガニックパパは農福連携の
取り組みもされており、障がい者の雇用も行っています。

オーガニック野菜は値段が高いイメージがありますが、旬の野菜を利用すれば現在の給食の値
段以下でオーガニック給食ができると言われました。

美味しく、体にも良い給食を子ども達に毎日食べてもらいたいと思いました。





心くおか市民政治ネットワークは、32年前から女性を議会に送り出し、生活者の視点で暮らしの課題を解決する活動を続けている地域政党です。宗像市では1990年以来6人の議員を出しています。

〒811-3431 宗像市田熊 2-1-1
Tel・Fax 0940-37-0700
Email munakata@fnet.gr.jp
HP http://www.fnet.gr.jp/munakata
■事務局長：田中るみ子 ■代理人：笠井かなえ

市民の声で「住み続けたい まち」宗像市に

近年、異常な豪雨による水害対策や子ども・子育ての支援、高齢になっても住み続けられる地域づくり、深刻化する環境問題の対策等が宗像市でも重要な課題になっています。市の予算が厳しくなっている中で、市民の多様なニーズに対応して施策を推進していくのは容易ではありません。予算の使い方の取捨選択がとて難しくなっていて、その判断に市民の声をどう反映させるかが重要です。

市民の立場で提案・要望

市民ネット宗像は、初の女性議員を宗像市議会に送り出してから市民の立場で、暮らしの中の課題を議会で取り上げてきました。

様々な悩みや課題のある市民の皆さんの話を聴き、一緒に解決策を話し合って、要望や提案をしたケースも数多くあります。自校式の学校給食、子ども基本条例の制定、学校の机の引き出しの備品化、認知症施策、化学物質ガイドライン作りなどを実現してきました。

住みよいまちづくりに市民の声を

国の内外で大きな変動がある中で、将来どの世代の人も宗像市で安心して生活できるように、今、私たちが地域づくりや市政・議会に関心を持ち、何ができるか考えることが大事ではないでしょうか。関心を持つ人が増えれば、地域や政治をより良く変える力になります。

一人の市民の気づき・声から市の取り組みが改善された事例もあります。改善して欲しいこと、困っていることを声にして、行動してみませんか？

市民ネット・宗像は皆さんと一緒にこれからも住みよいまちづくりのために活動していきます。

〈市民からの質問〉

Q. 宗像市では政務活動費が支払われていますか？

A. 宗像市の議員には報酬以外に「政務活動費」として市政に関する調査研究その他の活動のために、年間26万4千円（月額2万2千円×12ヶ月）支払われています。

また、「政務活動費使途基準」を定めており、支出全ての領収書を添付し、収支報告書を提出することが義務付けられています。残金は返還します。さらに市民ネットは、独自の使途基準を定め、宗像市では認めている「飲食費（報告会等の茶菓子代）」「事務所費」については使わないことを決めています。

各議員の「収支報告書」は、領収書とともに、ホームページに掲載されています。

宗像市のホームページから
市議会→政務活動費→収支報告書をクリック

議会事務局にお問い合わせで閲覧することもできます。

知っ得！学習会

終活ノートを使って、シニアライフに必要な情報を学び、今後の生活に役立てませんか？
テーマ

「明るいセカンドライフに・・・」

～ 終活（エンディング）について ～

講師 NPO法人
市民後見センター心くおか

6月3日（金）10:30～12:00

河東コミセン 大会議室

参加費：200円（資料代として）

※参加ご希望の方は5月31日（火）までにお申し込みをお願いします。

TEL/FAX 0940-37-0700

福岡県に「気候非常事態宣言」を求める署名活動中です！

地球温暖化は待ったなしです！
多くの市民の声が必要です。賛同される方は市民ネット事務所にご連絡下さい。
署名用紙をお持ちします。



電子署名もできます。
このQRコードを読みこんで参加下さい。

サポーター会員募集！（年会費1500円）

サポーター会員の方には、議会のお知らせや学習会等のご案内をお届けします。会費・カンパ・議員報酬からの寄付で活動しています。
郵便振替口座 記号01730-2 番号59371
心くおか市民政治ネットワーク・宗像

議会報告会 と まちづくりトーク

今、宗像市で気になること、困っていることは何ですか？こんな宗像市だったらいいな、あんな制度があったらいいなど、わいわい話しましょう！お気軽にご参加ください。

5月25日（水）10:30～12:00

市民ネット事務所

※申し込みは不要です。お待ちしております。



笠井かなえの活動レポート 3月議会報告

～子育て・介護をひとりぼっちにしないまちに～

みなさまのご意見、現場の声を
お聞かせください。
TEL・FAX：0940-37-0700
Mail：munakata@fnet.gr.jp



メール用
QRコード

一般質問

◆コロナ禍こそフレイル予防で健康づくりを

新型コロナウイルス感染症の流行が繰り返し起きて2年以上となり、予防対策に配慮した生活が継続しています。特に、高齢者は外出を控え閉じこもりがちになり、心身の活力が低下する「フレイル」状態の方が増加しています。コロナ収束後、要介護者が増加することが懸念され、フレイル予防に取り組む自治体が増えています。市民が心身の健康を維持していくために、フレイルに関心を持ち、予防の取り組みを日常的に実践することが重要だと考え、質問をしました。

●宗像市のフレイル予防の取り組みと課題について

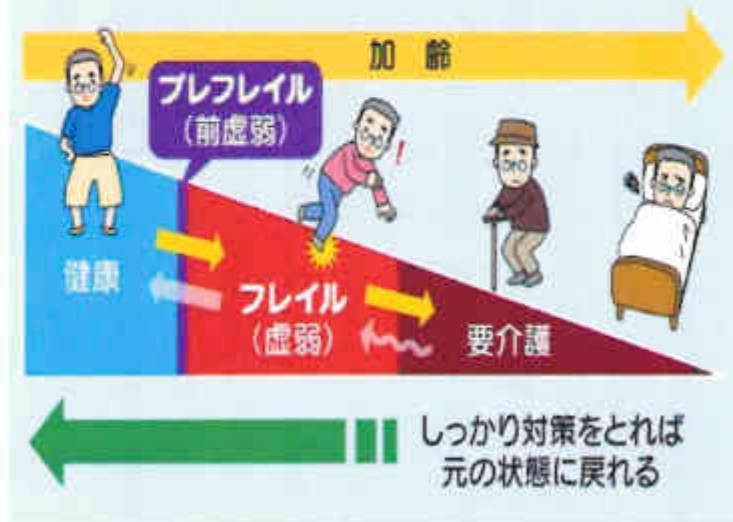
令和3年度、健康づくりの一環として「フレイル予防」の強化の実施内容を確認しました。

〈市の回答〉

地域で開いている「高齢者の通いの場」に保健師などが出向き、健康相談やフレイルチェックを行っている。その結果から、食事など生活改善の助言を行っている。

今年度は活動を休止する地区（団体）が多かったため、食事や運動、口腔ケアなどのチラシ、週間カレンダーを作成し、配布した。

課題として対象が一部の高齢者に限られており、若い世代へのフレイル対策が不十分です。



大分県ホームページより

●若い世代や幅広い市民にフレイル予防が必要

健康で長生きすることは、どの世代にとっても重要な課題です。フレイルは、本人が気づいて、日常的に改善に取り組めば、健康な状態に戻れることがわかっています。

若い働く世代を含め幅広い市民への啓発や色々な場でのフレイルチェックの実施、フレイルサポーターの養成など対策として効果的な取り組みを提案しました。また、介護も医療も利用していない高齢者への対策を要望しました。

〈市の回答〉

地域の祭りやイベントに健康ブースを出展し、測定や健康相談を実施。子育て世代が自身の健康を考えるきっかけになっている。また、今年は集まらずにできる「福岡健康ポイントアプリ」を活用したキャンペーンを実施。

- ・若い世代へのフレイルチェックは（笠井が紹介した）他の自治体の事業も参考に前向きに検討したい。
- ・医療も介護も利用していない高齢者への対策も今後取り組む予定。

予算

令和4年度予算に意見を付けて賛成しました。

一般会計 390億9千万円

新型コロナウイルス感染症経費と城山中学校の整備事業工事費により前年に比べ40億円増えています。

（4月に市長選挙があるため、骨格予算となります。）

要した事

子ども相談支援センターでのスクールソーシャルワーカーの相談件数が令和元年度と令和3年度を比較すると、児童虐待と不登校、障がいに関する相談が約3倍になっています。

対応を充実させるために、現在3人いるスクールソーシャルワーカーの増員を要望しました。

ここに注目

- ・市民協働環境部の中に脱炭素社会推進室が新設され、ゼロカーボンシティへの取り組みを進めていきます。
- ・災害に強い都市づくりとして、雨水管理まちづくり係を新設し、田んぼダムの調査を始めます。

注目の予算

○産後ケアの拡充が実現

令和2年12月議会で要望したデイサービス型、訪問型の支援が受けられるようになりました。利用期間は出産後20日までから1年までとなりました。

○水泳指導を民間に委託

教師の負担軽減とプールの維持管理費の削減のため日の里西小学校と日の里東小学校に続き、今年度は東郷小学校の水泳指導も民間に委託されます。

○介護職員人材確保対策費

市内の介護サービス事業所に勤務している職員（勤務予定者含む）を対象に資格取得費用が助成されます。

宗像市在住者は3ヶ月継続勤務後、市外在住者は6ヶ月継続勤務後、それぞれ助成されます。

